

2019年度 線区別の収支とご利用状況について

2020年6月8日



北海道旅客鉄道株式会社
HOKKAIDO RAILWAY COMPANY

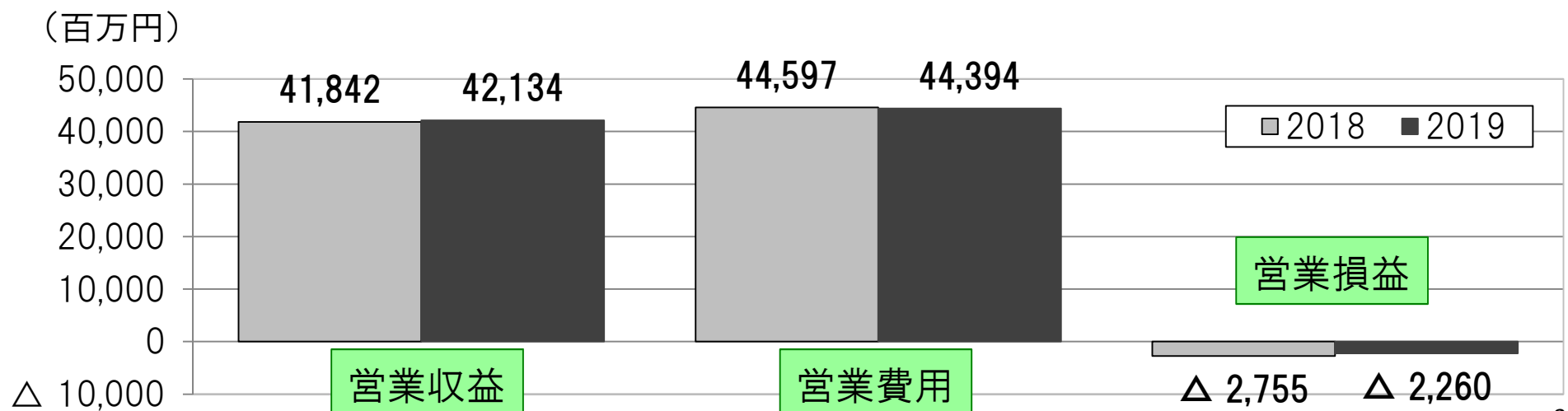
1 2019年度のポイント ①

- 営業収益は、第3四半期までは2018年9月の台風21号及び北海道胆振東部地震からの回復、新千歳空港アクセスのご利用の増加や運賃改定等により、全道で前年度を上回って推移していましたが、しかし、年度全体では、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、減少しました。
- 営業費用は、線路や新幹線の電気設備などの修繕が増加した一方、少雪のため外注による踏切や駅構内の除雪が減少したことや、車両の減価償却費が減少したことから、減少しました。
- ご利用状況は、鉄道事業廃止を前にした〔1〕札沼線（北海道医療大学～新十津川）や、アクションプランの取り組みにより、沿線の高校の通学手段をバスから鉄道へと切り替えていただいた〔10〕日高線（苫小牧～鷗川）を除き、新型コロナウイルス感染拡大の影響等により、輸送密度が減少しました。

1 2019年度のポイント ②

○ [18] 札幌圏（4線区）の営業損益が改善

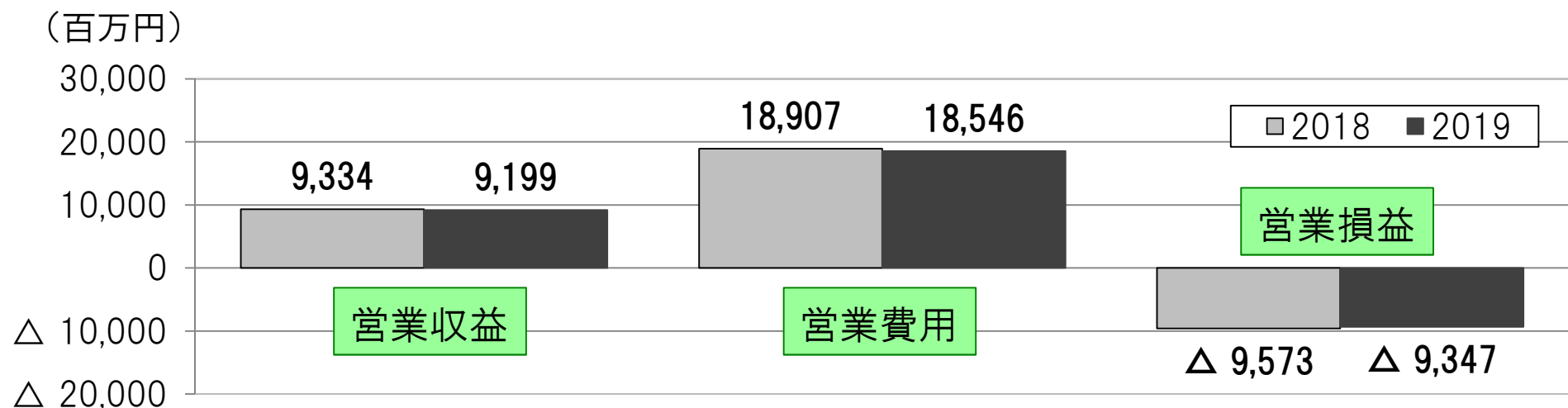
- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、北海道胆振東部地震からの回復や、運賃改定により運輸収入が増加したこと等により、292百万円増加。
- ▶ 営業費用は、運賃改定に伴う券売機改修等の修繕が増加した一方、外注による踏切や駅構内の除雪や、車両の減価償却費が減少したこと等により、203百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は495百万円改善。



1 2019年度のポイント ③

○ [21] 新幹線（新青森～新函館北斗）の営業損益が改善

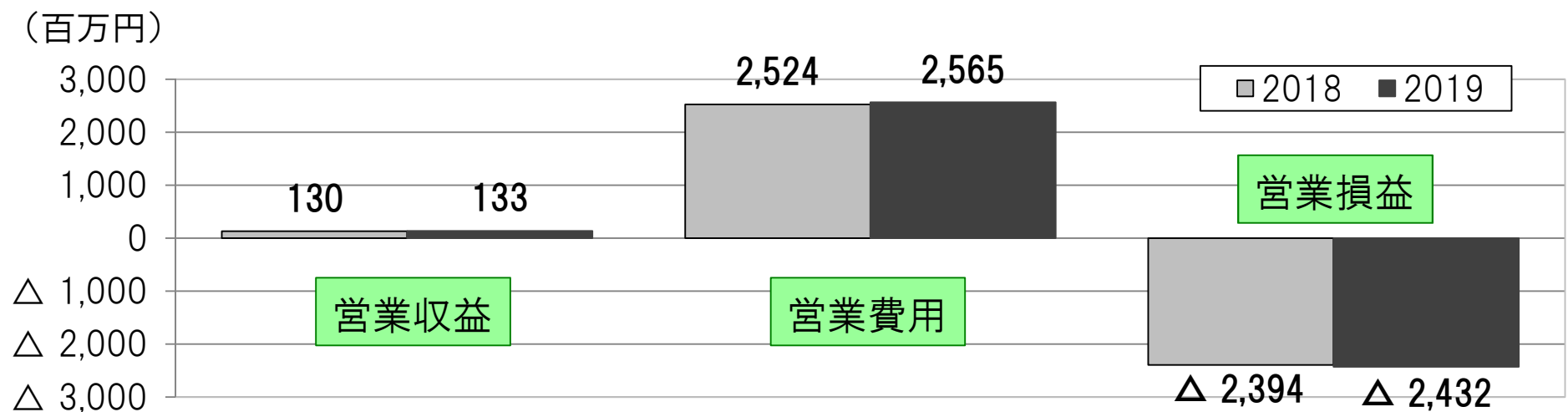
- ▶ 営業収益は、青函圏に重点を置いたキャンペーンの実施や、北海道胆振東部地震からの回復の一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で運輸収入が減少したこと等により、135百万円減少。
- ▶ 営業費用は、今年度から列車を運休させて作業時間を拡大した日を設定し、在来線との共用走行区間において線路の修繕や電力ケーブルの交換を実施したこと等により修繕費が増加した一方、車両の減価償却費が減少したこと等により、362百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は227百万円改善。



1 2019年度のポイント④

○ [1～4] 赤・茶線区全体の営業損失が拡大

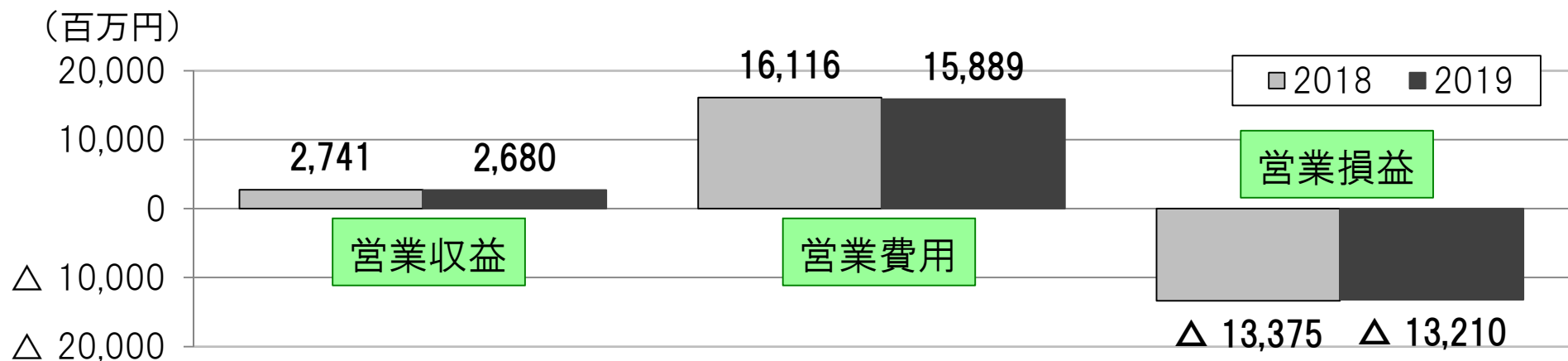
- ▶ 営業収益は、[1] 札沼線（北海道医療大学～新十津川）において2020年5月7日の鉄道事業廃止を前に運輸収入が増加したこと等により、3百万円増加。
- ▶ 営業費用は、[4] 日高線（鷗川～様似）において前年度に土砂流出対策工事を実施していたため修繕費が減少した一方、[2] 根室線（富良野～新得）において列車運行区間（富良野～東鹿越）の線路の修繕が増加したこと等により、41百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は38百万円拡大。



1 2019年度のポイント ⑤

○ [5～13] 黄線区全体の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、[9] 釧網線（東釧路～網走）において「くしろ湿原ノロッコ号」のご利用が増加したことや、[6] 根室線（釧路～根室）において根室市から受託した花咲線調査事業費を収入計上したこと等により増加した一方、[12] 石北線（上川～網走）等において新型コロナウイルス感染拡大の影響により運輸収入が減少したこと等により、61百万円減少。
- ▶ 営業費用は、[9] 釧網線（東釧路～網走）では「線路集中メンテナンス日」を設定しマクラギ交換を実施した一方、[5] 宗谷線（名寄～稚内）において橋梁の修繕が減少したこと等により、226百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は165百万円改善。



2 その他増減の大きな線区

○ [14] 石勝・根室線（南千歳～帯広）の営業損失が拡大

- ▶ 営業収益は、北海道胆振東部地震からの回復の一方、新型コロナウイルス感染拡大の影響で運輸収入が減少したこと等により、271百万円減少。
- ▶ 営業費用は、トンネルや線路の修繕が増加したこと等により、315百万円増加。
- ▶ 以上により、営業損失は587百万円拡大。

○ [19] 宗谷線（旭川～名寄）の営業損益が改善

- ▶ 営業収益は、新型コロナウイルス感染拡大の影響はあったものの、北海道胆振東部地震からの回復や、通学のご利用の増加により運輸収入が増加したこと等により、2百万円増加。
- ▶ 営業費用は、外注による踏切や駅構内の除雪や、橋梁の修繕が減少したこと等により、63百万円減少。
- ▶ 以上により、営業損益は65百万円改善。

3 線区別の収支とご利用状況

別紙のとおり

2019年度 線区別の収支とご利用状況（対2018年度）

線名・区間			収支（百万円）									輸送密度 （人／日）								
			営業収益 （A）			営業費用 （B）			営業損益 （A）－（B）											
			2018年	2019年	増減	2018年	2019年	増減	2018年	2019年	増減	2018年	2019年	増減						
1	札沼線	医療大学～新十津川	16	24	7	297	299	2	△	281	△	275	5	62	71	9				
2	根室線	富良野～新得	34	32	△	2	768	894	127	△	734	△	863	△	129	94	82	△	12	
3	留萌線	深川～留萌	38	38	1	678	699	21	△	640	△	661	△	21	145	137	△	8		
4	日高線	鶴川～様似	43	39	△	3	782	673	△	109	△	739	△	633	106	119	104	△	15	
1～4計			130	133	3	2,524	2,565	41	△	2,394	△	2,432	△	38						
5	宗谷線	名寄～稚内	411	399	△	12	3,033	2,905	△	129	△	2,622	△	2,505	117	335	316	△	19	
6	根室線	釧路～根室	164	170	6	1,279	1,277	△	1	△	1,115	△	1,108	7	250	238	△	12		
7	根室線	滝川～富良野	144	130	△	14	1,250	1,219	△	31	△	1,106	△	1,089	18	419	386	△	33	
8	室蘭線	沼ノ端～岩見沢	117	121	3	1,346	1,228	△	117	△	1,228	△	1,108	120	412	388	△	24		
9	釧網線	東釧路～網走	288	304	16	1,736	1,917	181	△	1,448	△	1,613	△	165	380	372	△	8		
10	日高線	苫小牧～鶴川	39	47	8	408	378	△	30	△	368	△	331	37	462	528	66			
11	石北線	新旭川～上川	288	279	△	9	1,247	1,305	58	△	959	△	1,026	△	67	1,117	1,047	△	70	
12	石北線	上川～網走	916	856	△	59	4,378	4,272	△	107	△	3,463	△	3,415	47	779	710	△	69	
13	富良野線	富良野～旭川	373	373	△	1	1,439	1,388	△	51	△	1,066	△	1,015	50	1,505	1,419	△	86	
5～13計			2,741	2,680	△	61	16,116	15,889	△	226	△	13,375	△	13,210	165					
1～13計			2,871	2,813	△	58	18,640	18,454	△	186	△	15,769	△	15,641	127					
14	石勝・根室線	南千歳～帯広	5,408	5,137	△	271	8,796	9,112	315	△	3,388	△	3,975	△	587	3,529	3,246	△	283	
15	室蘭線	長万部～東室蘭	2,931	2,809	△	121	4,575	4,567	△	9	△	1,645	△	1,757	△	113	4,804	4,466	△	338
16	室蘭線	室蘭～苫小牧	3,342	3,243	△	99	5,816	5,991	175	△	2,474	△	2,748	△	274	6,764	6,310	△	454	
17	函館線	岩見沢～旭川	5,379	5,167	△	211	8,993	8,809	△	184	△	3,615	△	3,642	△	27	8,237	7,682	△	555
18	札沼線	桑園～医療大学	41,842	42,134	292	44,597	44,394	△	203	△	2,755	△	2,260	495	17,957	17,552	△	405		
	函館線	札幌～岩見沢													42,926	41,284	△	1,642		
	千歳・室蘭線	白石～苫小牧													46,416	45,232	△	1,184		
	函館線	小樽～札幌													47,039	45,565	△	1,474		
19	宗谷線	旭川～名寄	632	634	2	3,330	3,267	△	63	△	2,698	△	2,633	65	1,393	1,336	△	57		
20	根室線	帯広～釧路	1,605	1,528	△	77	5,500	5,589	89	△	3,895	△	4,061	△	166	1,557	1,450	△	107	
21	新幹線	新青森～新函館北斗	9,334	9,199	△	135	18,907	18,546	△	362	△	9,573	△	9,347	227	4,899	4,645	△	254	
14～21計			70,473	69,852	△	621	100,516	100,275	△	241	△	30,043	△	30,423	△	380				
22	函館線	長万部～小樽	430	455	25	2,791	2,808	18	△	2,360	△	2,353	7	625	618	△	7			
23	函館線	函館～長万部	4,488	4,310	△	178	11,090	11,076	△	14	△	6,602	△	6,766	△	164	3,650	3,397	△	253
22～23計			4,918	4,765	△	153	13,880	13,884	4	△	8,962	△	9,119	△	157					
合計			78,280	77,430	△	851	133,252	132,613	△	639	△	54,971	△	55,183	△	212	5,108	4,926	△	182
24	石勝線	新夕張～夕張	18	—	△	18	215	—	△	215	△	197	—	197	146	—	△	146		

- (注) 1. 輸送密度とは、旅客営業キロ1km当たりの1日平均旅客輸送人員をいいます（線区輸送人キロ÷営業キロ÷日数）。
2. 合計の輸送密度には、バス代行を継続的に実施している区間のある日高線（鶴川～様似）と根室線（富良野～新得）の実績を含まずに算出しています。
3. 2018年度の合計の収支・輸送密度には、2019年4月に鉄道事業を廃止した石勝線（新夕張～夕張）の実績を含んで算出しています。

2019年度 線区別の収支とご利用状況

線 名 ・ 区 間	営 業 キ ロ (km)	輸 送 密 度 (人/日)	収 支 (百万円)					営業係数(円)		
			営 業 収 益 (A)	営 業 費 用		営 業 損 益		管 理 費 除 く (B)/(A)	管 理 費 含 む (D)/(A)	
				鉄 道 計 (B)	管 理 費 (C)	営 業 費 用 (D)=(B)+(C)	管 理 費 除 く (A)-(B)			管 理 費 含 む (A)-(D)
1 札 沼 線 医療大学 ～ 新十津川	47.6	71	24	262	37	299	△ 239	△ 275	1,099	1,253
2 根 室 線 富良野 ～ 新 得	81.7	82	32	698	196	894	△ 666	△ 863	2,205	2,825
3 留 萌 線 深 川 ～ 留 萌	50.1	137	38	610	89	699	△ 572	△ 661	1,589	1,821
4 日 高 線 鶴 川 ～ 様 似	116.0	104	39	201	472	673	△ 162	△ 633	513	1,719
1 ～ 4 計	295.4		133	1,771	794	2,565	△ 1,638	△ 2,432	1,331	1,928
5 宗 谷 線 名 寄 ～ 稚 内	183.2	316	399	2,550	354	2,905	△ 2,151	△ 2,505	639	727
6 根 室 線 釧 路 ～ 根 室	135.4	238	170	1,108	169	1,277	△ 939	△ 1,108	653	753
7 根 室 線 滝 川 ～ 富 良 野	54.6	386	130	1,041	177	1,219	△ 911	△ 1,089	800	937
8 室 蘭 線 沼ノ端 ～ 岩見沢	67.0	388	121	1,086	143	1,228	△ 965	△ 1,108	898	1,017
9 釧 網 線 東 釧 路 ～ 網 走	166.2	372	304	1,682	235	1,917	△ 1,377	△ 1,613	553	630
10 日 高 線 苫 小 牧 ～ 鶴 川	30.5	528	47	345	33	378	△ 298	△ 331	732	802
11 石 北 線 新 旭 川 ～ 上 川	44.9	1,047	279	1,145	161	1,305	△ 865	△ 1,026	410	467
12 石 北 線 上 川 ～ 網 走	189.1	710	856	3,746	526	4,272	△ 2,890	△ 3,415	438	499
13 富 良 野 線 富 良 野 ～ 旭 川	54.8	1,419	373	1,208	180	1,388	△ 835	△ 1,015	324	372
5 ～ 13 計	925.7		2,680	13,911	1,978	15,889	△ 11,231	△ 13,210	519	593
1 ～ 13 計	1,221.1		2,813	15,682	2,772	18,454	△ 12,869	△ 15,641	558	656

14 石 勝・根 室 線 南 千 歳 ～ 帯 広	176.2	3,246	5,137	8,072	1,039	9,112	△ 2,936	△ 3,975	157	177	
15 室 蘭 線 長 万 部 ～ 東 室 蘭	77.2	4,466	2,809	4,077	490	4,567	△ 1,267	△ 1,757	145	163	
16 室 蘭 線 室 蘭 ～ 苫 小 牧	65.0	6,310	3,243	5,323	669	5,991	△ 2,079	△ 2,748	164	185	
17 函 館 線 岩 見 沢 ～ 旭 川	96.2	7,682	5,167	7,768	1,041	8,809	△ 2,601	△ 3,642	150	170	
18 札 沼 線 桑 園 ～ 医 療 大 学	28.9	17,552	42,134	39,048	5,346	44,394	3,086	△ 2,260	93	105	
	函 館 線 札 幌 ～ 岩 見 沢	40.6									41,284
	千 歳・室 蘭 線 白 石 ～ 苫 小 牧	68.0									45,232
	函 館 線 小 樽 ～ 札 幌	33.8									45,565
19 宗 谷 線 旭 川 ～ 名 寄	76.2	1,336	634	2,837	430	3,267	△ 2,203	△ 2,633	448	515	
20 根 室 線 帯 広 ～ 釧 路	128.3	1,450	1,528	4,909	680	5,589	△ 3,381	△ 4,061	321	366	
21 新 幹 線 新 青 森 ～ 新 函 館 北 斗	148.8	4,645	9,199	15,724	2,822	18,546	△ 6,525	△ 9,347	171	202	
14 ～ 21 計	939.2		69,852	87,758	12,517	100,275	△ 17,905	△ 30,423	126	144	

22 函 館 線 長 万 部 ～ 小 樽	140.2	618	455	2,480	328	2,808	△ 2,025	△ 2,353	545	617
23 函 館 線 函 館 ～ 長 万 部	147.6	3,397	4,310	9,751	1,324	11,076	△ 5,442	△ 6,766	226	257
22 ～ 23 計	287.8		4,765	12,231	1,653	13,884	△ 7,466	△ 9,119	257	291

合 計	2,448.1	4,926	77,430	115,671	16,942	132,613	△ 38,241	△ 55,183	149	171
-----	---------	-------	--------	---------	--------	---------	----------	----------	-----	-----

※ 合計には、出向社員給与などを含まないため、鉄道事業計とは一致しません。

鉄 道 事 業 計	2,448.1	—	80,903	—	—	136,937	—	△ 56,034	—	—
-----------	---------	---	--------	---	---	---------	---	----------	---	---

(注)1. 管理費とは、本社・支社の鉄道事業部門や、総務・経理などの一般管理部門の従事員に係る、人件費や物件費などのことです。
2. 営業係数は、100円の営業収益を得るために必要な営業費用の指数をいいます。